

WAKAYAMA

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

2009年
9・10月号 Vol.27

Wakayama Culture and Arts **POWER**

歴史と浪漫に 触れる町

わかやま浪漫街道を訪ねて

【田辺市】

熊野古道の中辺路ルート、大辺路ルートの分岐点で、「口熊野」と称されています。また「自然と歴史を生かした新地方都市の創造」を基本目標とした、新たなまちづくりが行われています。

CONTENTS

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

わかやま浪漫街道を訪ねて…6

大好き和歌山／けんぶん舞台裏へのご招待…7

カルチャーインフォメーション…8

artist message

アーティスト メッセージ

今回も和歌山のウインズとして今できる精一杯でぶつかります。皆さん、一緒に思い出の1ページを作りましょう!!

9月22日(火・祝)に和歌山県民文化会館小ホールで行われる「ウインズ LIVE2009 in 和歌山」。今回はウインズ・平阪佳久さんに舞台の見どころと意気込みをお聞きしました。

Q 音楽を始められたきっかけは?

A ギターを始めたのは、中学校時代に入っていた、野球部の仲間の影響です。高校時代からは夢を持つようになり、地元を離れず長く音楽を続けさせていただく結果となりました。全国の都道府県で県名に「歌」の字が入っているのは和歌山県だけです。僕は歌が和歌山の将来を明るくしてくれると信じています。

Q 多数のご当地ソングを手掛けられています。どのようなことを想いとして一番伝えたいと考えていらっしゃいますか?

A 平阪が作るご当地ソングは、一般的にある、県外の方へのふる里自慢ではなく、県内の皆さんに、自身が住んでいる故郷の素晴らしさに気づき、地元を誇りを持っていただきたい、と言う想いで作り歌っています。

Q 今回のステージの見どころを教えてください。

A 今回も関東や関西でプロミュージシャンとして頑張っている、元のウインズオリジナルメンバーやサポートメンバーを含め、7名のバンドでお届けする、本当の意味のウインズLIVEです。今回は和歌山のダンスグループ、ダブルロックンクルーのパフォーマンスも加わり、初のダンスコラボもあります。

Q 昨年和歌山県文化奨励賞を受賞された際の感想をお聞かせください。

A 本当にびっくりしました。J-POPバンドでこんな賞をいただけるなんて夢にも思っていなかったので!ただ嬉しいのと、いただいた賞に恥じないよう、これからも和歌山からヒット曲を出したいと言う志を忘れずに、全力投球したいと思っています。

Q 今後どのような活動を展開されたいと思っておりますか?

A もちろん平阪自身も少しでも多くの方にウインズの音楽を聞いていただけるよう、また本当のLIVEをご覧いただけるように努力したいと思います。



ウインズ
平阪 佳久 ひらさか よしひささん

11月29日生まれ/橋本市高野口町
デビュー以来 地元和歌山県を拠点に活動を続ける。1986年「一発逆転」というバンド名で、生まれ育った和歌山県をパロディーにした「キンキのおまけ」でビクターよりデビュー、関西で話題となる。これまでにシングル12枚、アルバム8枚をリリース。2008年、和歌山県文化奨励賞を受賞。Joshinや吉野家などCMソングや番組テーマ曲をはじめ、「和歌山LOVESONG」など、ご当地ソングも多数手がける他、テレビやラジオにもレギュラー出演している。

に県内で頑張ってくれる後輩の育成やサポートをし、いつかは和歌山県内に音楽や芸能のプロダクションを作り、和歌山から全国に広がるアーティストを育てていきたいです。

Q 今回のステージを楽しみにしている地元和歌山県の方々にメッセージをお願いします。

A いつもウインズを応援していただきありがとうございます。今回も和歌山のウインズとして今できる精一杯でぶつかります。9月22日、皆さんと一緒に、思い出の新たな1ページを作りましょう! どうかよろしく願いいたします。



9/火・祝
22
ウインズ LIVE 2009 in 和歌山
~きのくにコンサート~

■開演/午後3時
■場所/和歌山県民文化会館小ホール
■入場料/4,000円(全席指定)、(残席わずか)
3,500円(立見席)



出演 ウインズ平阪(Vo&Gt)、亀岡利行(Vo&Gt&P)、
宮本恵梨菜(Vo)、野田浩司(Ba)、山原啓司(Dr)、
加納洋志(Gt)、金城真左志(Key)
【OA】敷下将人、Shino+ 【D.A】W. LockinCrew

ウインズは、1986年「キンキのおまけ」でデビュー以来、和歌山県を拠点に活動を続け、多数のCMソングやテーマ曲、そして「和歌山LOVE SONG」など、ご当地ソングも手がけるJ-POPユニットです。
今回のコンサートには地元の新進アーティストも参加します。



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成20年度 和歌山県文化奨励賞



ピアニスト

中川知保(なかがわ ちほ)さん

昭和38年紀の川市生まれ。昭和62年東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒。昭和63年国際ロータリー財団奨学生としてウィーン国立音楽大学に留学。ウィーンでデビュー後、関西を拠点に活動。平成11年全日本ピアノ指導者協会優秀指導者賞、平成16年日本クラシック音楽協会優秀指導者賞。相愛大学音楽学部非常勤講師。



「音楽が大好きな両親で愛唱歌をよく歌ってくれました。小さい私が聴いたままのその旋律をピアノで弾いて驚かせたそうです。ピアノは6歳から始めましたが、本格的に取り組んだのは中学2年生からで、高校生になると東京まで月に一回のレッスンに通いました」と中川さん。高校時代の一日の



コンサートの様子

練習時間は平日で4~5時間、休みの日には8~9時間という日々の努力が実り、東京芸大ピアノ科に合格。卒業後はウィーンに2年間留学し、デビューリサイタルを同地で開き大好評を博しました。帰国後は関西を中心に活動を開始し、県下でも「県クリスマスチャリティコンサート」、「紀の川市誕生記念コンサート」などを開催。また、子どもたちにもクラシック音楽に触れる機会をと紀の川市を中心に小中学校でのボランティアの演奏会を多数開き、大きな感動を与え続けました。1995年ごろから寄せられる感動の声に答えて、誰にでも音楽の素晴らしさとクラシック音楽を身近に感じてもらえるようにと、楽しいお話や人気のある親しみやすい音楽、自作の詩などで優しくさわやかな舞台「音楽の森ピクニックコンサート」を企画・構成して長年に渡り、続けてきました。さらに、作曲家に焦点をあてた物語性のある「音楽の街プロム

ナードコンサート」も手がけ、クラシック音楽の魅力を多彩に演出しながら、卓越した演奏で聴衆を魅了しています。

演奏活動と共に大学の講師として後進の育成に尽力し、門下生は様々な全国ピアノコンクールで優秀賞を受賞しています。そのすぐれた指導力と実績から全日本ピアノ指導者協会や日本クラシック音楽協会の最優秀指導者賞を受賞しました。

「夢を持ち続けて音楽の道を歩いています。夢を支えてくださった先生方や多くの方々にお世話になり感謝しています。若者に夢を持つこととあきらめないで最後まで頑張ることの大切さを伝えたい、これからも音楽を通して自分のできることを精一杯続けていきたいと思っています。」と中川さんは優しく語ります。



見学だけでなく体験もできます。 ~けんぶんバックステージツアー~

通常は見学だけできない、舞台の裏側など(バックステージ)を案内するもので、舞台上に立って出演者の気分を味わっていただくこともできます。

また、オリジナルの演出を施したプチコンサートも併せてお楽しみいただけます。

- ◆開催日時 9月26日(土)午後1時の部/午後3時の部
9月27日(日)午前10時の部/午後2時の部
- ◆開催場所 和歌山県民文化会館大ホール
(舞台・音響室・照明室など)
- ◆募集定員 各20人 ◆募集期間 9月5日(土)まで受付
- ◆参加料金 無料 ◆見学時間 1時間
- ◆申込方法/往復はがきにご希望の曜日・時間・お名前・住所・電話番号・年齢を記入しお申し込みください。※グループでお申し込みの場合は、全員のお名前・年齢をご記入ください。
※応募者多数の場合は抽選となります。



【お問い合わせ・お申し込み先】〒640-8269和歌山市小松原通1-1
(財)和歌山県文化振興財団 けんぶんバックステージツアー係
TEL073-436-1331 FAX073-436-1335

けんぶんミニコンサート

10/3

お月見コンサート in みさと

出演 / 尾上利香(声楽)
新宅一家(サクソフォン)&松本有里(電子ピアノ)
辻崇志(トランペット)&人見友章(電子ピアノ)

- 開演 / 午後7時
- 場所 / みさと天文台 野外(雨天の場合は室内)
海草郡紀美野町松ヶ峯180
- 入場料 / 200円

お話 / みさと天文台
主任研究員 豊増伸治さん
出演 / 地元大正琴の皆さんによる演奏

11/15

ミニコンサート in マリーナ

出演 / チャッチャラー(沖縄三線&歌)
中野綾・幾瀬敦子(声楽)&池ノ上祐子(電子ピアノ)
清水利美・八杉雅美・前芝久仁子(箏)
中西恵子(声楽)&坪井静香(電子ピアノ)&米田芳子(ダンス)&木村和紀子・木村直貴(大正琴)
大野憲子(声楽)&前山奈美(電子ピアノ)
河内克之・中谷由紀彦・大平敦子・宮楠静・杉野泰夫(ホルン・アンサンブル)

- 開演 / 午後2時
- 場所 / わかやま館1階(マリーナシティ内)
和歌山市毛見1520
- 入場料 / 無料

【お問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団 TEL073-436-1331

11/7

アートワークショップ 1日体験会

- 時間 / 午前10時~午後4時ごろまで
- 場所 / 県民文化会館内会議室

15の講座を開催しますのでアートな一日を過ごしませんか?
興味のある文化講座が気軽に体験できます。
詳細は下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ】
(財)和歌山県文化振興財団
TEL073-436-1331

初心者のための三味線教室、ギター・ウクレレ教室、初心者のためのネイル教室、俳画教室、毛筆・筆ペンで書く楽しい年賀状教室、いけばな嵯峨御流教室、かっぱれ踊り教室、やさしい日本舞踊教室、太極拳入門教室、現代和布の小物づくり教室、アートフラワー教室、針がねとビーズのオブジェ教室、和歌山歌舞伎散歩、手づくり絵本教室、キラキラ☆デコ教室

平成21年度優秀映画鑑賞推進事業

名作シネマシアター

開催日 11月11日(水)、12日(木)

- 開演 / 両日とも午前10時
- 開場 / 両日とも午前9時30分
- 場所 / 和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料 / 入場券400円(1枚で2日とも入場できます。)
ペア券700円(お2人で2日とも入場できます。)
シニア券300円(60歳以上の方、2日とも入場できます。)
(当日年齢を証明するものをご持参ください。)

11月11日(水)	弁天小僧	10:00~11:26	11月12日(木)	血槍富士	10:00~11:34
	王将	12:00~13:33		飢餓海峡	12:00~15:03
	飢餓海峡	13:45~16:48		王将	15:15~16:48
	血槍富士	17:00~18:34		弁天小僧	17:00~18:26



■王将



■飢餓海峡

けんぶんミュージックフェスティバル 出演者募集

様々なジャンルで活躍するアマチュアミュージシャンに発表の機会を提供するものです。多くの方の応募をお待ちしています。

ベストアーティスト受賞者には(10万円相当のミュージックギフトカード)を贈呈します。

- 演奏内容 ロック、ポップス等、オリジナル曲、カバー曲は問いません
- 応募資格 年齢、性別、住所、演奏構成は問いません。
但し、全て生演奏で参加できること。
※高校生以下は保護者の同意が必要です。
その他条件あり
- 応募方法 応募申込書に録音CD等所定の物を添付のうえ下記まで郵送又は持参してください。
- 応募期間 9月末日必着
- 結果発表 10月10日(土)までに応募者全員に審査結果を通知します。

本選

- 場所 / 和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料 / 1,000円
- 持ち時間は1組10分
- 審査員と来場者によりベストアーティストを決定
- 特別ゲストと過去のベストアーティスト賞受賞者を交えてのライブも同時に開催。
- 特別ゲスト / ウィンズ平阪
(予定) 田頭宣和(平成20年度オリジナル部門ベストアーティスト受賞者)



エントリーから本選まで

所定の応募用紙による申し込み

予備審査 本選出場者8組(予定)を決定

本選 平成22年1月24日(日)開演 午後3時

お問い合わせ・応募先
(財)和歌山県文化振興財団内 ミュージックフェスティバル係
和歌山市小松原通1-1 TEL.073-436-1331

1/日
17

青島広志のおしゃべりクラシック Part 4

- 開演/午後3時
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/一般2,500円、学生500円(小学生から高校生まで)
- 発売開始日/けんぶん友の会優先電話予約9月11日(金)午前10時から
一般(プレイガイド)販売9月20日(日)から

恒例となりましたブルーアイランド氏こと青島広志氏による楽しいお話を交えたクラシックの演奏会です。クラシックの入門として最適です。

指揮・ナビゲーター/青島広志

- 管弦楽 大阪シンフォニカー交響楽団
- ソリスト 小野勉、四方典子
- プログラム スッペ:オペレッタ「軽騎兵」序曲
J. シュトラウスII:トリッチ・トラッチ・ポルカ
ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」第2楽章
J. シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか



Photo.青柳聡

1/木
28

2年ぶりの和歌山公演 レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」

音楽:P. チャイコフスキー 振付:M. プティパ、L. イワノフ

- 開演/午後6時30分
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/S席12,000円、A席10,000円、B席8,000円
C席6,000円、D席(学生)3,000円
D席を除き各席とも500円の学生割引有り
- 発売開始日/けんぶん友の会優先電話予約9月9日(水)午前10時から
一般(プレイガイド)販売9月18日(金)から

白夜と芸術の都 Санктペテルブルグで生まれ、育まれてきたレニングラード国立バレエは170余年の歴史と伝統を誇る名門バレエ団です。エレガントで高貴な薫りを漂わせるコール・ド・バレエ(群舞)のアンサンブルの美しさは「世界最高峰のコール・ド・バレエ」と称賛されています。

「白鳥の湖」は、プティパ、イワノフが約

100年前に描いた初演当時の原典を復刻したレニングラード国立バレエの代表作です。胸を締め付けるほどの情感を見事に描き、さらに世界に称賛されているコール・ド・バレエの優美なアンサンブルがいつもの悲劇性を際立たせられています。また、この演目は、何度でも観ておきたいクラシックバレエの名作中の名作です。この機会をお見逃しなく!



平成21年度きのくに舞台芸術祭支援事業

9/日
19

米村でんじろうの「おもしろサイエンスショー」

- 開演/(第一部)午後1時
(第二部)午後3時30分
- 場所/貴志川生涯学習センター かがやきホール
- 出演/米村でんじろう
- 入場料金/高校生以上2,000円、中学生以下1,000円
- 主催・お問い合わせ/貴志川生涯学習センター 0736-64-2273

9/日
12

小椋佳 歌談の会

- 開演/午後6時30分
- 場所/かつらぎ総合文化会館大ホール
- 出演/小椋佳
- 入場料金/前売り4,000円、(売り切れ)
- 主催/かつらぎ総合文化会館 シビック喜楽
- お問い合わせ/かつらぎ総合文化会館 0736-22-0303

10/日
17ビリーバンバン&トワ・エ・モア
〜ハートフルコンサート〜

- 開演/午後6時
- 場所/串本町文化センター
- 出演/ビリーバンバン、トワエモア
- 入場料金/3,000円(全席自由)
- 主催/串本町文化自主事業実行委員会
- お問い合わせ/串本町文化センター 0735-62-0006



【助成】和歌山県・(財)和歌山県文化振興財団 【協賛】(財)和歌山県市町村振興協会

わかやま浪漫街道を訪ねて

歴史と浪漫に
触れる町

〔田辺市〕

和歌山県内に残る歴史街道を訪ね、
守り続けたい地元の文化遺産を
シリーズで紹介します。問い合わせ／闘雞神社 Tel0739-22-0155
アクセス／JR紀伊田辺駅から徒歩約10分。阪和道南紀田辺
ICから約15分

弁慶市／毎月第3日曜、闘雞神社馬場で、開催されている朝市です。江戸時代の中頃より開かれていた、六斎市(ろくさいいち)通称『弁慶市』を再現したものです

田辺市には、今も弁慶生誕地にまつわる品や史跡がいくつも残っています。弁慶と弁慶の父・湛増(たんぞう)ゆかりの神社、闘雞神社。固唾をのんで闘鶏を見守るふたりの像が建立されています。源氏と平氏の双方より熊野水軍の援軍を要請された湛増が、どちらに味方をするかを確認するため、神社本殿の前で赤を平氏、白を源氏に見立てた紅白7羽の鶏を闘わせたことによるものです。

また闘雞神社鳥居外でひっそり建つ碑は、「高尾山下 忘れてな

ろか 紀伊の田辺は 城下町」と記されています。これは、詩人の野口雨情の作品。昭和13年2月25日、雨情が田辺を訪れてその風光を愛で、田辺歌謡十章を詠んだうちの1章です。現在は、上屋敷に残る水門跡が往時の姿を、中屋敷界隈が武家屋敷の面影をとどめています。紀南文化会館西側から田辺郵便局に至る堀丁(ほりちよう)は、かつて田辺城の堀があった場所で、風格ある門構えの屋敷が立ち並び、田辺が城下町であったことを思い出させてくれます。



闘雞神社／弁慶産湯の釜、弁慶の父湛増が使ったとされている鉄烏帽子や鉄扇等の宝物が展示されています



中屋敷界隈／風情ある中屋敷界隈の町並みが、かつて城下町だったことを実感させてくれます



野口雨情の詩碑／神社鳥居外には「高尾山下 忘れてなるか 紀伊の田辺は 城下町」と雨情の詩が刻まれています

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

平成21年度日本語クラス～始まります！

～和歌山県国際交流センターからのお知らせ～

和歌山県には、約6,500人の在住外国人の方が住んでいます。その中には、日本人と結婚した方や、留学生、研修生など、さまざまな立場の方がいます。

日常生活の中で、買い物の仕方や、バスの乗り方など、外国人には、わからないことがたくさんあります。

そのため、当センターでは、日常生活に最低限必要な日本語を習得してもらうためのクラスを開講します。

このクラスには、さまざまな国の方が集まります。クラスの中では、同じ国の

友人もでき、また、当センターに来ること、日本人との交流もできます。

当センターは、言葉が通じず、親しい人もいないなど、さみしい思いをしている外国人の方が、日本社会に溶け込めるきっかけになる場所になっています。

日本語クラス

第1期：9月12日～12月6日の土曜日または日曜日
(レベル1) 13:00～14:30
(レベル2) 15:00～16:30

※上記とは別に、当センター日本語ボランティアによるクラスも始まる予定です。詳しくはお問合わせください。

※第2期は、平成22年1月から開講予定です。



〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL:073-435-5240

開館時間／午前10時～午後6時30分
休館日／水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を開館し、翌日の月曜日を休館)、年末年始
<http://www.wak-kokusai.jp/>

大好き 和歌山



連合「雨月」



仕舞「山姥」

能楽600年の歴史と伝統を守り支え、 後世に謡い継ぎたい!

和歌山県謡曲流友会

謡曲とは能楽の詞章・脚本です。それに節をつけて謡うことを謡(うたい)といいます。謡、太鼓・鼓を打つ囃子(はやし)、能装束をつけずに舞う仕舞(しまい)など、和歌山市在住の観世流能楽師小林慶三氏と喜多流能楽師松井彬氏の両流派で師事を受けている門下生および他府県から先生をお招きしてお稽古されているお弟子さん達一堂に会して、日頃の稽古の成果を披露し、伝統芸能の謡曲に親しむ愛好家を増やそうと昭和56年に発足したのが和歌山県謡曲流友会。

県民文化祭参加で同年9月に「第1回流友会謡曲大会」を公演し、以来、毎年、県民文化会館での開催を続けて、今秋9月12日(土)県民文化会館小ホール公演で第29回目を迎えます。今年の出演団体は観世流の小林

観風会、梅田邦謡会、県庁職員謡曲部、近鉄カルチャー門下生、喜多流は松井喜松会、片山敬袖会、高木高風会、岩出市謡曲部で、出演者は総勢30数名に及びます。演目は数名で謡う連吟(れんぎん)。能一曲を面(おもて)や装束をつけず、囃子を加えず、役(シテ、ワキ、ツレ、地)を定め、座して謡う素謡(すうたい)。一曲の特定の部分を一人で謡う独吟(どくぎん)。面や能装束を着けず囃子もなく地謡で舞う仕舞。太鼓や鼓の囃子方の連調(れんちょう)など、魅力ある舞台を展開します。

会発足以来の会長・楠山繁さんは会員と共に能楽謡曲文化の振興を支えて来ました。能楽鑑賞会の「和歌浦万葉薪能」では、観客に能楽を分りやすく解説しています。

「今の時代はすぐに手に入る文化を求める風潮が強くなっていますが、能楽は600年の歴史と伝統を持ち、奥深く磨き抜いた芸のえもいわれぬ魅力を今に伝えています。普遍的な日本人の心を受け継ぐ謡曲をより多くの人に知ってもらい、その心を生きていく上での知恵や糧にしてもらえれば嬉しく思います、ぜひ、流友会謡曲大会にお越し下さい」と楠山さんは熱く呼びかけます。

流友会謡曲大会(第29回公演) 和歌山県民文化会館小ホール

- 平成21年9月12日(土)午後13時30分始
- 入場料/無料
- 問合せ/和歌山県謡曲流友会 073-424-6882

けんぶん舞台裏へのご招待 / vol.11 ピンスポットライト

普段は入ることができない舞台裏へ、普段聞き慣れない舞台用語を交えて皆さんをご案内します。

主に舞台や客席にいる出演者の動きに合わせて狙い当たる高照度なスポットライトのことを言います。長焦点レンズを使っているため、照明機材は大型になっています。

基本的には凸スポットライトの一種ですが、別名ピンホールフォロースポットライト(略してピンスポ)と呼ばれるように、対象物をはっきりと捉え続

けるために特化したライトです。

光源の種類により、クセノンピンスポットライト、ハロゲンピンスポットライトなどがあります。

当館の大ホールでは2階客席中央奥にセンターピンルームがあり、そこからピンスポットライトを用いて投光の作業を行っています。



大ホール/センターピンルーム

カルチャーインフォメーション

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展

■9月8日(火)～11月8日(日)

「現代美術と一緒に暮らす」ことを楽しみに、あるコレクターが自らの足で歩き、選び、買い集めてきた作品の数々は、やがて100人以上の作家による500点を越える作品群となり、自宅を飾る枠を越え、もはやひとつの時代を反映するものとなりました。表現の振幅が大きい今日の美術に対し、地道な活動を続ける作家にも目を配ったコレクション。今村 源、太田三郎、小泉雅代、坂上チユキ、奈良美智などなど、数々の作品を紹介します。



☎和歌山市吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☎午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎一般340円、大学生230円(高校生以下、高齢者(65歳以上)、障害者の方、県内留学・就学生は無料) ☎

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

世界遺産登録5周年記念特別展

熊野三山の至宝ー熊野信仰の祈りのかたちー

■9月8日(火)～10月18日(日)

熊野三山(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・那智山青岸渡寺)に残されてきた国宝・重文をはじめとする多様な文化財を一堂に会して展示し、熊野信仰についてわかりやすく紹介すると共に、多くの人々の心を魅了してやまない熊野の魅力に迫ります。



☎和歌山市吹上1-4-14 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☎午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) *毎金曜日～午後7時まで(入館は午後6時30分まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎一般880円(団体650円) 大学生500円(団体400円) *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方・外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料 20名以上の団体割引あり ☎

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

特別展「衣食住の原材料を里山に求めて」

■10月10日(土)～12月27日(日)



人々は昔から里山に衣食住の原材料を依存してきました。そのことから人と里山の関係を考古・民俗・建築・植物の各分野から紹介し、現在のわたしたちの生活をあらためて見なおしてみます。

☎和歌山市岩橋1411 ☎JR和歌山駅東口からバス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☎午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎一般190円、大学生90円、高校生以下、65歳以上、県内に留学中の外国人留学生及び就学生、障害者の方は無料 ☎

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

土の中の生き物を探そう

■10月24日(土) 13:00～15:00

土の中にすむ生き物を採集し顕微鏡やルーペで観察、その多様性や働きなどを観察します。

■対象：中学生以上一般 定員：20名 費用：入館料のみ 用意するもの：ルーペ、ピンセット、筆記用具など 申込締切り：10月10日(土)必着

ドングリころころ工作教室

■10月25日(日) 13:00～16:00

植物のタネや木の実がもついろいろなかたちを観察しながら、ドングリをつかったマスケット作り挑戦!

■対象：小学生以上一般 / 定員：30名 / 費用：入館料+78円(傷害保険料) 用意するもの：自宅周辺で拾った木の実やタネなど / 申込締切り：10月11日(日)必着



上記2点とも応募多数の場合は抽選

申込方法：往復ハガキに行事名・参加希望者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入、または和歌山県電子申請システムから必要事項を記入

☎海南市船尾370-1 ☎JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☎午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎一般460円 *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 ☎

万葉館

☎073(446)5553

企画展～自然への賛美～

「あさもよし きのくに風景画展」

■9月8日(火)～11月8日(日)

きのくに和歌山の風景を四季を通じて山、川、海、色づく木々や木々の戦ぎ、水面に写る景色に風が薫り、大気が染まる移ろいゆく光りと影を描出します。

開館15周年記念企画～村瀬先生と行く～

「第2回万葉バスツアー」

■10月4日(日)

講師に近畿大学教授の村瀬憲夫氏を迎え、岩代・白浜方面の万葉ゆかりの地を訪ねるバスツアーです。参加費：3,000円(昼食含まず) 定員：先着40名(定員になり次第締切り) 集合：片男波公園(万葉館)駐車場に7:50 持ち物：昼食、飲料、雨具等、動きやすい服装・靴で参加のこと *9/27よりキャンセル料が発生します

☎和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☎午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎無 ☎一般200円 大・高校生100円 小・中学生無料 *高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 *20名以上の団体割引あり ☎

12/6

ザ・アイリッシュダンス

～ラグース～

話題騒然! 人気沸騰! 世界を席捲した噂のカンパニー「ラグース」

■開演/午後3時

■場所/和歌山県民文化会館大ホール

■入場料/S席6,500円

A席4,500円(全席指定)

アイリッシュダンスの原型をそのままにエンターテインメント化した人気のショー。最高のエンタテイメントに乞うご期待!

好評発売中



WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成21年9月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp